

平成 25 年度 第 1 回 大阪府立布施高等学校 学校協議会 概要

日時：平成 25 年 6 月 14 日（金）15:30～17:00

場所：布施高校 校長室

全体の司会・進行…教頭

<15:30～15:40>

1. 挨拶 【校長】

2. 学校協議会委員・事務局員紹介 【教頭】

3. 会長、副会長選出（会長挨拶） 【教頭】
協議会会長・・・田澤氏を選出
副会長・・・上村氏を選出

<15:40～15:55>

4. 学校経営計画 普通科専門コース設置 学校経営推進費（報告） 【校長】

<15:55～16:05>

5. 教育活動の進捗状況（報告）
（1）1 年生学習合宿 【首席】
（2）「教育産業との連携事業」「H24 年度志学」 【指導教諭】
（3）今春卒業生進路状況 【進路指導主事】

<16:05～16:55>

6. 学校改革に向けて（協議） 【進行：会長】

<提言内容等>（○印は提言 →印は学校側の回答等）

○校長のパワーポイントでの現状の説明や学習合宿の意義等よく理解できた。

○学校の方針、よくわかった。

○昔の布施高は 8 割が浪人したが、関々同立は多かった。塾にも誰も行かなかった。進学数の増加に加え、人間教育もよろしく願いたい。

→文武両道の“武”は、“文”を支えるもの。生きるための知識をしっかりと身につけさせたい。FN 活用で、ゲストスピーカーの講演などで先人の話を聞き、将来について考える場もしっかり作ってきたい。

○ここ 2 年の入試倍率の高さは、なぜか？

→交通の便等もあるだろうが、ここ 2 年ほど、取組み（学習合宿等）を充実させ、そのことを教育産業訪問で伝えるなど広報にも力を入れている。担任も含め教員全員での中学校訪問も始めた。オープンにすることで、安心して生徒を送ってもらえている面もあるかも知れない。複数の理由があると思う。

- どこの中学を受けるかの決定については、塾で判定して、それを本人・保護者が中学校に申し出てくるケースが多い。もちろん、本人の固い意志で決めるケースもある。
- 大学生では進路変更（他大学受け直し等）する学生が増えている。目標もなく入学しているのも原因の一つ。まず、目標を持たせる取組みをやっていただきたい。
- やりたいことをしっかり決めることのできる学生はとても強い。そのために親が、どう助言するかも大きい。
- （“成績上位生をしっかり伸ばす”という）校長に賛成。これまで小学校、中学校で、家庭がしんどい児童・生徒をフォローすることに力をいれてきた。しかし、できる子、夢を持っている子、やりたい子を伸ばす、そのためにどれだけ学力をつけてやれるか、ということにもっと力を入れることが必要だと最近感じる。特に高校では、その側面は大きいのではないか。
- もっと伸びる子を、しっかり伸ばす、という考えは大切。そのために授業を“変える”という意識が必要。
 - 「校長だより」も読んでいただきたい。そこでも目的意識の大切さを説いている。体育祭で生徒は涙を流して感動している。そのくらい（涙を流すくらい）目標を持って一生懸命やることが、学習や他の面でもあってほしいと望んでいる。
- 姉（布施卒業生）は3年生になると勉強していたが、弟（布施3年生）は、全く勉強をしていない。大学にいく目的がわからないためだと思う。本人は、どうしてよいか分からないようだ。目標を持てるようなこと（取組み）があればよいが。
- 入学時より（全体的に）成績が落ちているのは、周囲（先輩）の影響や学校の雰囲気大きいのではないか。この空気をどう変えるか、が大事
 - 授業をやっていても、40人の空気が大切だと感じる。（学習に前向きな生徒が）過半数いないとダメ。何かの仕掛けが必要。うちの生徒は勉強のスタートも遅い。創造祭は、特に3年は軽めにやる必要ありと担任は考えているが、なかなかそうならない。サテラインゼミなどは、90分もあるのに生徒は寝ずに頑張っている。やはり授業が大切。周囲がやらないと自分も・・・（やらない）となる。
- 小学校でも教室の状態が（飾り付け、清掃などの点で）よいと雰囲気もよくなる。授業力が高いということが大事なように“教室が良い”ということも大事。

<16:55~17:00>

7. その他

- 連絡

【教頭・事務部長】